

# 3歳から 楽しめる絵本

……赤ちゃん絵本を卒業したら……  
おすすめの40冊



## あおくと きいろちゃん

レオ・レオーニ 作  
藤田圭雄 訳  
至光社

レオニ

あおくときいろちゃんは、いちばんの仲よし。あるとき二人はひとつになって、みどりに変わってしまいました。さあ、たいへん！顔も手も、足もないただのまるなのに、なぜか二人の心の動きが伝わってきます。



## ありとすいか

たむらしげる 作  
ポプラ社

タムラ

ある暑い夏の午後、ありがたいかを見つけてやってきました。おいしそうすいかです。ありは一口食べてみました。これはうまいぞ！さっそく巣に運ぼうとしましたが、4匹ではとても動きません。さて、すいかを運ぶことはできたのでしょうか。



## アンガスと あひる

マージョリー・フラック  
さく・え  
瀬田真二 やく  
福音館書店

フラツ

スコッチテリアのアンガスは、見るものかぐもの、なんでも知りたがる子犬です。ある日、生垣の向うから聞こえてくる音の正体を知りたくてとびだしていきます。さて、その正体とは……。ほかに「アンガスとねこ」、「まいごのアンガス」があります。



## いいって どんなこ?

ジーン・モデシット 文  
ロビン・スポート 絵  
もきかずこ やく  
富山房

スハウ

子ウサギのパーニーは、いろんなことが心配になり、次々とお母さんに質問します。でもお母さんは、いつも子どもをまるごと受け入れ、「今のまんまのパーニーが大好きよ」と言ってくれます。子どもを叱ってしまった日に読みたい絵本です。



## いたずら こねこ

パーナティン・クック ぶん  
レミイ・シャリップ え  
まさきりこ やく  
福音館書店

シャリ

ある日、こねこはとなりの家のかめに近づきます。初めてかめを見るこねこはおどろいて、用心しながら少しずつ近づいてみます。かめのちょっとした動きに戸惑うこねこの様子が、白地を生かした鉛筆画にいきいきと表されています。



## うみへいく ピン・ボン・バス

竹下文子 作  
鈴木まもる 絵  
偕成社

ススキ

バスの中で、次のバス停で止まりますの合図、「ピンボン」にウキウキさせませんか？バスは駅からうみべのまちまで、ぼくたちを乗せて走ります。いつも見なれているまちの風景が、しっかり描かれていて好感がもてます。



## おばけの バーバパパ

アネット=チソンと  
タラス=テイラー さく  
やましたはるお やく  
偕成社

チソン

バーバパパは、フランソワ家の庭で種から生まれたおばけです。体が大きすぎたので、動物園のおりの中に入れてしまうのですが、姿を変えて外へ出ます。こんなおばけが近くにいたら、きっと毎日が楽しくなりますね。



## かばくん

岸田衿子 さく  
中谷千代子 絵  
福音館書店

ナカタ

動物園に朝がきました。朝はのんびり寝坊して、動物園に来た子どもたちを見物して、ごはんを食べて、眠くなったら寝て……。のんびりやのかばくんの一日を、少年とかめくんの視点からあたたかく描いています。



## からすの パンやさん

かごとし 絵と文  
偕成社

カコ

いすみがもりにあるからすのパン屋さん。お父さんお母さん、4羽の子ガラス、家族みんなで、楽しい形のパンをたくさん焼きました。パンはこどもたちに大人気！そして森は大騒ぎに……。夢のパンがたくさん出てきます。



## きいろいのほ ちょうちょ

五味太郎 作・絵  
偕成社

コミ

男の子が「ちょうちょ！」と思って網をかぶせると意外や意外、花や木の実や風船で失敗、また失敗。ちょうちょを追いかける男の子は、だんだん自信を無くしていきます。ちょうちょの形の穴あきしかけがある楽しい一冊です。